

た高機能ドローンを新たに配備し、情報収集能力の更なる向上を図ります。

大規模災害時に発生が懸念される、同時多発的な火災の被害を最小限に留めるためには、速やかな初期消火と延焼防止活動が重要です。これに有用なスタンドパイプ消火資機材の認知度をさらに向上し、地域の防災力を上げられるよう、新年度は、スタンドパイプ講習会において、火災の延焼状況をよりリアルにイメージできるAR技術を活用し、より実用的な講習内容といたします。

市内における、振り込め詐欺をはじめとした特殊詐欺の被害は、以前と比べて減少しているものの、いまだに後を絶ちません。こうした特殊詐欺から市民の皆様の財産を守るため、本市では平成30年度から、県内初となる録音機能付き電話機等の購入費の補助を70歳以上の方を対象に実施しており、補助制度を活用された市民の方からは、不要な電話が減り、安心感があるといった声をいただいています。新年度もこの取り組みや、警察OBである市民生活安全相談員などによる相談業務の実施を継続し、被害の撲滅を目指してまいります。

本市では、全国初の事例となる、「大和市歩きスマホの防止に関する条

続き適切な管理に努めてまいります。

### 7 豊かな心と感動が広がるまち

七番目の基本目標は、「豊かな心と感動が広がるまち」でございます。

「絵本のまち やまと」として、図書館施策と子育て施策に取り組み本市では、市内の子どもが集まる飲食店や商業施設などに絵本棚を設置する「まちなか絵本スポット事業」を展開しており、現時点で、希望のあった18カ所に設置が完了しています。新年度につきましても、累計50カ所を目指し、設置を進めてまいります。

また、今年度は、新しい才能の発掘と子どもたちの読書活動を促進するため、商業出版の経験がない方などを対象にした創作絵本作品コンクール「やまと絵本大賞」を開催しました。全国から数多くのご応募をいただいております。また、最も優秀な作品を発表いたします。新年度は、最優秀作品を製本し、市内の図書館、学校、保育施設等に配架することで、絵本の魅力を届けてまいります。

大和スポーツセンター競技場は、

例」を令和2年に制定し、室内を除く公共の場所での歩きスマホを禁止しています。歩きスマホが、転倒によるけがや交通事故につながる可能性のある危険な行為であることを多くの方にご理解いただき、安全に安心して通行できる空間を確保するため、新年度においても南林間駅のほか、市内の駅周辺に路面標示シートを追加で設置し、その啓発に努めてまいります。

### 6 環境にも人も優しい快適な都市空間が整うまち

六番目の基本目標は、「環境にも人も優しい快適な都市空間が整うまち」でございます。

地球温暖化という大きな課題に直面し、全国各地で脱炭素社会の実現に向けた機運が高まっています。本市ではこれまで、住宅における太陽光発電システム等の導入を支援するなど、温室効果ガス排出量の削減に努めており、今後も継続してまいります。新年度には、家庭系有料指定ごみ袋について、素材の一部に再生可能な物質を原料としたバイオマスプラスチックを使用したものへと順次

観覧席を備え、スポーツ愛好者からアスリートまで幅広い方に利用されています。本市唯一の公式大会を開催できる日本陸上競技連盟公認の競技場でもあり、新年度は、陸上競技施設の維持を目的とした改修工事の設計に着手してまいります。

健康都市大学における「市民でつくる健康学部」では、市民の皆様にご協力をお願いしていただいております。学びを通じた市民の居場所づくりや市民同士の繋がりの創出を図っています。コロナ禍ではありますが、原則週5日開講し、令和3年度には年間で延べ6,686人の方にご参加いただいております。新年度は、現在実施している同大学の「月イチ学園祭」をリニューアルし、新たに四季ごとにテーマ性のある企画を検討してまいります。

### 8 市民の活力があふれるまち

八番目の基本目標は、「市民の活力があふれるまち」でございます。

本市では、商業基盤の強化と地域社会の活性化の実現を目指し、「大和商業戦略計画」を定めています。新年度は、商業者や市民等の意見を聞

切り替え、ごみの焼却時の温室効果ガス排出抑制を図ってまいります。

快適な都市空間を形成していくことは、市民生活の質をより高めていくために重要です。中央林間駅周辺では、「中央林間地区まちづくりビジョン」に基づき様々な取り組みを進めています。新年度も、鉄道事業者が実施する保育施設の設計と工事に対する補助を行い、駅周辺環境の更なる向上を図ってまいります。

加えて、大和駅周辺では、中心市街地としての魅力を一層高めるため、



大和オークシティの東側に整備した自転車通行空間

き、商業を取り巻く課題を把握しながら計画の改定を行ってまいります。

企業がカーボンニュートラルを達成するためには、生産の効率化やデジタル技術の活用など、様々な課題があると言われております。新年度は、中小企業における現状と課題等の調査や勉強会を実施し、新たな成長機会にもつながるカーボンニュートラルに対する取り組みを支援してまいります。

本市では、人手不足に悩む農家を支援するため、ボランティアで農作業を行う援農サポーターを募集し、農家へ派遣する事業を行っております。新年度も引き続き、援農サポ



3年ぶりに開催した「やまとdeのど自慢」

地域の様々な主体と連携しながら、居心地が良く歩きたくなるようなまちづくりを進めてまいります。新年度は、駅周辺のデータ収集、分析等の基礎調査を実施し、目指すべきまちの姿を具現化するためのロードマップを検討してまいります。

歩きたくなるまちの実現に向けては、外出時、一休みできるようなベンチの設置に取り組んでおり、新年度も市役所周辺のエリアなどに整備を行ってまいります。

本市では、移動しやすく安全な都市基盤を整備することで、まちの快適性を高める取り組みを推進しております。相模原市と藤沢市を結び、市を南北に縦断する都市計画道路の福田相模原線については、南林間、上草柳、福田の各地区で道路の拡幅等に向けた調整を行っており、今後を着実に事業の進捗を図ってまいります。あわせて、歩行者と自転車を分離し、共に安全に移動できる自転車通行空間については、新年度、市役所と市立病院の東側で整備を進めてまいります。

新たな都市基盤を整える一方で、既に整備した環境をしっかり維持していくことも重要です。日常的に多くの方が訪れる公園においては、樹木の剪定や草刈りの回数を増やし、引きなげてまいります。

市民の絆を育む地域行事や防犯、防災等の地域活動を行うためには、地域コミュニティの存在が重要です。新年度は、その活動拠点となる自治会館等集会所施設について、新築、修繕などに対する補助を行い、引き続き、活動を支援してまいります。また、コミュニティセンターにつきましては、下鶴間会館の新築移転に向け、設計を行ってまいります。

新型コロナウイルスの影響で開催を自粛していたイベントも、現在では感染症対策を徹底しながら徐々に再開しています。昨年、3年ぶりの開催となった「やまとdeのど自慢」や今年1月に初めて開催した「やまとdeカラオケ大会」は新年度も引き続き実施してまいります。また、春と秋の毎週日曜日には、大和駅の図書館の道のイベントとして、将棋、囲碁、マージャンのほか、お絵描きができるスペースなどを継続的に設置してまいります。ぜひ、多くの方にご参加いただき、お楽しみいただければと思います。

本市では、性別にとらわれず、誰もが個性と能力を発揮できる社会を目指し、「第3次やまと男女共同参画プラン」に基づき、取り組みを進めて